

## 第6学年 国語科学習指導案

日 時 平成16年10月14日(木) 5校時

指導学級 6年1組 男子15名 女子19名 計34名

指導者 山本文彦

### 1 単元名 工夫して発表しよう

教材名 「わたしの六年間」(光村図書「国語6年 下」)

### 2 単元について

本単元の主たる指導事項は「考えた事や自分の意図が分かるように話の組み立てを工夫しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。」である。本教材では6年間の小学校生活の思い出について自分で題材を決定し、聞き手に自分の思いが伝わるように効果的なスピーチのしかたを学習する。効果的なスピーチには内容面と態度面との工夫が考えられる。本単元では自分の思いを効果的に伝えるための組み立ての工夫に主眼を置きスピーチの学習を進める。

児童は今までに、「新しいわたし」(5年上)で教科書に載っている写真から自分で好きな写真を選び思ったことを話すことを、「地球環境会議について考えよう」(5年下)で自分の考えを伝えるための資料を用意して話し合うことを、「インタビュー名人になろう」(5年下)で次の質問のためのメモのとり方を中心としてインタビューのしかたを、「学級討論会をしよう」(6年上)で自分の立場を明確にして意見を述べることを、「二つの意見から」(6年上)で調べたことをもとにし話の組み立てを工夫して発表をする学習等を行ってきた。児童は、自分の思いや考えを作文や日記に素直に表すことができる。しかし、それを話し言葉で相手に伝えることについては、恥ずかしい気持ちが先に立ち思いをうまく伝え合うことができないでいる。また、作文や日記、普段の会話の中で過去の様子を振り返る際、時間の流れで述べてしまう傾向がある。組み立ての工夫や書き出し、話し始めの工夫など国語の時間に限らず会話文から、その時の気持ちを音で表すなどして工夫するように指導を続けているところである。

指導にあたっては、スピーチ原稿の組み立てに重点を置き、工夫したスピーチ原稿を一人一人が思いをもって作ることで、自分の思いや考えを発表する前に安心できるよう配慮していきたい。また、卒業を間近に控えた今の時期に6年間の小学校生活を振り返り、お互いに発表し合うことのすばらしさに気付かせ、自信をもって積極的に明るくスピーチができるように学級経営と合わせて指導を進めたい。話したり聞いたりする力の基礎・基本の定着を図るために、以下の点に留意する。

自分と共に6年間生活してきた友だち(相手)に自分の印象に残った出来事を発表する会(場面)を設定することにより、聞き手である友だちに自分の気持ちがどのようにすれば伝わるのか(目的)工夫させる。

「書くこと」の活動とも合わせ、効果的な組み立てに気付くモデルや教科書、付録CDを活用することにより効果的な組み立て方や発表の方法などに気付くことができるようにする。

- ・ 組み立て(はじめ、なか、おわり)
- ・ 話し出しの工夫
- ・ 様々な表現方法(写真、絵、効果音、寸劇等)
- ・ 態度面の工夫(立ち方、声の調子、目線等)

毎時間の授業に工夫しなければいけない観点を示しスピーチ原稿を見直したり、グループの友だち同士で練習や助言をし合ったりしながら効果的な発表ができるようにする。

### 3 単元の目標

〔関心・意欲・態度〕

小学校生活の一番の思い出について、聞き手の心をつかむように組み立てを工夫してスピーチをしようとする。

〔話す・聞く能力〕

聞き手に印象づけるように組み立てを工夫してスピーチすることができる。

効果的な発表のしかたを工夫してスピーチすることができる。

〔言語の能力〕

文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。

### 4 単元指導構想表（8時間）

段階	時	つきたい力(既新) (話す・聞くの基礎・基本)	学 習 活 動	教 師 の 支 援
第一 次	1	伝えたいことを選んで話す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>これからの学習の見通しをもつ。</li> <li>自分の6年間を振り返り、伝えたい題材を見つける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的・相手意識をもたせるために6年間一緒に学んできた友だちに一番思い出に残った出来事を伝える学習であることをおさえる。</li> </ul>
第二 次	本時 2/2	事実と感想、意見との組み立てを考えて話す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>スピーチ原稿を作る。</li> <li>話の組み立ての重要性に気付く。</li> <li>お互いにスピーチの練習をし合いスピーチを見直す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>はじめ、なか、おわりの組み立てに気を付けてスピーチ原稿を考えるように指導する。</li> </ul>
	1	資料や例示を効果的に活用して話す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思いをより効果的に伝えるためにどんな工夫ができるか考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の発表がより効果的になる絵や写真、寸劇や効果音等のモデルを提示する。</li> </ul>
第三 次	2	適切な音量や速さで話す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>スピーチの練習をする。</li> <li>スピーチメモを作る。</li> <li>3人組でスピーチの練習を交互に行い、お互いに直した方がいい所などを教え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞く人は話の組み立て表現の工夫発声や話し方の観点にそって共感的な姿勢で聞くように促す。</li> </ul>
第四 次	2	事実と感想、意見との組み立てを考えて話す。  資料や例示を効果的に活用して話す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表会を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スピーチするときには抑揚や強弱についても注意して話すこと。聞く人は共感的に聞くことをスピーチする前におさえる。</li> </ul>

3学期の参観日に感謝の気持ちを込めてお家の方々に発表を聞いてもらう。

5 本時の指導

(1) 目標

組み立てを工夫して、スピーチ原稿をつくることができる。

(2) 展開

段階	学 習 活 動	教師の支援(・)と評価( )
導 入 3分	1 前時を想起する 2 本時の学習課題を把握する。 組み立てを工夫してスピーチ原稿を作ろう。	・スピーチをする際は組み立ての工夫が大事であることを確認する。
展 開 39分	3 組み立ての工夫にはどんなものがあるのか話し合う。 4 メモを見ながら構成を考える。 ・ワークシートにあらかじめ記入しておいたメモを見ながら組み立てを考える。 5 話し始めを工夫する 6 グループで聞き合い、お互いに助言し合う。 7 自分の組み立てを再検討する。 ・友だちから教えてもらったことを検討し、内容や組み立てを考え直す。 8 もう一度グループで聞き合い、お互いのスピーチが良くなったことを認め合う。	・3つのパターンを例示しその違いに気付き自分のスピーチの参考にするように促す。 結論－具体的内容－まとめ きっかけ－具体的内容－結論 結論－具体的内容－再度結論 ・何度も変更してかまわないことを伝え、よりよい発表ができるように意欲をもたせる声かけをする。 ・組み立てが決まったら話し始めの工夫について例示する。 ・よりよいスピーチにするための話し合いの方法を確認してから練習を始める。(聞き方として はじめ なか おわりの構成になっているかを意識して聞くようにすること)。 ・言われたことをすべて直すのではなく自分の考えをもって再検討するように確認する。 ・早くできた児童へは違うパターンで組み立てを考えてみるように促す。 組み立てを工夫して、スピーチ原稿をつくることができたか A 組み立てを工夫して、複数のスピーチ原稿を作っている。 B 組み立てを工夫して、スピーチ原稿を作っている。 C (支援) 結論－内容－結論の順で組み立てを考えてみることを助言する。(観察・ワークシート)
ま と め 3分	9 本時の学習を振り返る。 10 次時の学習内容を知る。	・組み立てを工夫することにより自分の思いがより相手に伝わりやすくなることに気付かせこの時間でみんなすばらしい組み立てになったことに気付かせ自信をもたせる。 ・次時は資料等を使ってより効果的なスピーチになるような工夫を学習することを知らせる。

わたしの六年間

組み立てを工夫してスピーチ原稿をつくらう

パターン1

紙板書

パターン2

紙板書

パターン3

紙板書

紙板書

パターン  
僕の宝物はくきです。  
去年、ぼくの家を建て替えました。ひいおじさんの代に建てられ古くなったからで  
す。生まれてからずっと育った家が少しずつ壊されていくのはとても悲しく、家族で過  
ごした様々な思い出が次々と頭の中を駆けめぐりました。大工さんに釘を一本だけ分  
けてもらいました。この家の思い出がこのくきにつまっています。だよと言って大工さん  
が僕の手のひらにのせてくれました。このくきを持っていると「太郎 がんばれ」とひいお  
じさんが話しかけてくれるような気がします。つらいときや苦しいときに手のひらに  
のせると、とても元気になるのです。  
これで僕の宝物の紹介を終わります。

パターン  
これから僕の宝物を紹介します。  
去年、ぼくの家を建て替えました。ひいおじさんの代に建てられ古くなったからで  
す。生まれてからずっと育った家が少しずつ壊されていくのはとても悲しく、家族で過  
ごした様々な思い出が次々と頭の中を駆けめぐりました。大工さんに釘を一本だけ分  
けてもらいました。この家の思い出がこのくきにつまっています。だよと言って大工さん  
が僕の手のひらにのせてくれました。このくきを持っていると「太郎 がんばれ」とひいお  
じさんが話しかけてくれるような気がします。つらいときや苦しいときに手のひらに  
のせると、とても元気になるのです。  
僕の宝物はそのくきです。

パターン  
僕の宝物はくきです。  
去年、ぼくの家を建て替えました。ひいおじさんの代に建てられ古くなったからで  
す。生まれてからずっと育った家が少しずつ壊されていくのはとても悲しく、家族で過  
ごした様々な思い出が次々と頭の中を駆けめぐりました。大工さんに釘を一本だけ分  
けてもらいました。この家の思い出がこのくきにつまっています。だよと言って大工さん  
が僕の手のひらにのせてくれました。このくきを持っていると「太郎 がんばれ」とひいお  
じさんが話しかけてくれるような気がします。つらいときや苦しいときに手のひらに  
のせると、とても元気になるのです。  
ですから僕の宝物はくきです。